平成25年度県立高校改革リーディングプロジェクト推進事業「高大連携出前講座」

「電池を変える　世界が変わる」

全学年の受講希望者30名を対象に実施（平成25年12月13日（金）16時～17時30分）
講師：名古屋大学大学院工学研究科教授　入山恭寿　先生

受講生の感想より

・今回の話は電池ということで自分の身近でも利用しているものだったが、その原理や歴史などを分かりやすく教えていただくことができてよかった。計算問題や分子構造は少し理解ができないところもあったが、とても勉強になった。（１年男子）
・私は文理選択で迷ったのでこの講座を受講したのですが、少し理系の分野を学んでみたいなという思いが強くなりました。エネルギー問題が今深刻で、電池とか電気エネルギーは生活する上で必要なものだからこの分野を学ぶことは日本だけでなく世界のためにもなるのだと分かりました。とても興味深く貴重な経験ができたのでよかったです。（１年女子）
・まだ授業で習っていないことがたくさんあったけど、電池というものが私たちの生活に密接に関係していることが分かった。電子端末を使っているとバッテリーの性能だけはなかなか技術が向上していないような気がしていたが、電池の高性能化、安全化、低価格化はとても難しいと分かった。（１年男子）
・授業ですでに電池の仕組みについては学習していたが、その理解が深くなった気がした。特に感じたことは日頃何気なく勉強していること（今回では結晶格子のすきまについて）が、割と日常生活や研究の分野で役立っていることに気づいた。地球環境や資源の面ですでに地球の将来は危ないのではないかと幻滅していたが、だからこそひとつの希望を託して研究をしていくのだということを感じた。（２年男子）
・今回の出前講座はとても分かりやすくておもしろかった。化学で勉強したことが復習できたし、今まで知らなかったことも勉強できた。それぞれの電池に長所・短所があって、劣化しない電池が発明されたらとてもいいと思った。全固体電池や金属空気電池というのがあることも初めて知った。新しい電池を作るのにいろいろな知識が必要だけどとても興味深い分野だと思った。（２年男子）